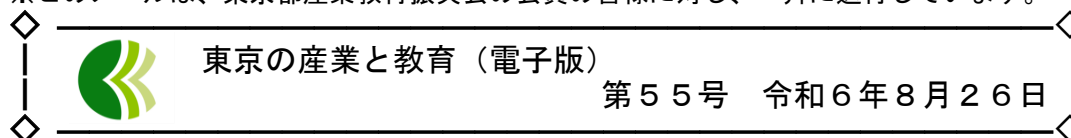


※このメールは、東京都産業教育振興会の会員の皆様に対し、一斉に送付しています。



この会報電子版は、専門高校を中心とした産業教育の魅力を発信しています。
今後ともよろしくお願いいたします。

東京都産業教育振興会HP <https://www.tosanshin.org/>

☆今号のコンテンツ

- 【1】会報166号の訂正とお詫び
- 【2】産学懇談会（第二回）打合せのため、実習船「大島丸」を訪船
- 【3】令和6年度都立工科高校2024ドリーム・フェスタが開催
- 【4】令和6年度「西多摩で働く人材を育てる産学連携事業」
連絡協議会（第1回）開催
- 【5】（再掲）令和6年度「作文コンクール」のお知らせ
- 【6】都立荒川工科高等学校訪問
- 【7】情報提供のお願い

☆

【1】会報166号の訂正とお詫び

7月30日に発行いたしました第166号の会報につきまして、以下のような間違いがありました。執筆を頂きました東京都立桐ヶ丘高等学校卒業生小山大貴様並びに黒後茂統括校長、保護者、学校関係者に対し、深くお詫び申し上げます。今回の誤りの原因は、WORDファイルからPDFファイルへの変換時に起きたものです。今後は、原稿チェックをさらに強化し、このようなことか二度と起こらないように事務局のチェック機能を高めてまいります。

なお、東京都産業教育振興会ホームページにて訂正版を掲載いたします。

会報5頁上段	（誤）	小山 大
	（正）	小山 大貴

【2】実習船「大島丸」訪船（7月）

7月26日（金）、産学懇談会（第2回）（9月13日（金）実施予定）の打合せのため、有明MPふ頭（有明多目的ふ頭）に停泊中の実習船「大島丸」を訪船いたしました。

当日の時程を都立大島海洋国際高校及び船関係者と打合せを行い、参加者の皆様をお迎えする準備を整えました。

予定しております時程は次の通りです。（クルージングが天候不順などの影響で運航できない場合は、一部内容を変更して実施いたします。）

【午前の部】午前9時20分大島丸集合

- (1) 午前9時30分から午前9時35分まで
 - ①乗船式
 - ②日程説明
- (2) 午前9時35分から午前9時45分まで
 - ①乗船における注意事項説明
- (3) 午前9時45分から午前11時50分まで
 - ①学校概要の説明、特色ある教育活動
 - ②クルージング、船内見学
 - ③懇談会 学校の現状と課題、感想など
- (4) 午前11時50分から正午まで
 - ①下船式
 - ②事務連絡



【午後の部】（内容は午前の部と同様）午後1時50分大島丸集合

- (1) 午後2時00分から午後2時05分まで
 - ①乗船式
 - ②日程説明
- (2) 午後2時05分から午後2時15分まで
 - ①乗船における注意事項説明
- (3) 午後2時15分から午後4時20分まで
 - ①学校概要の説明、特色ある教育活動
 - ②クルージング、船内見学（2班に分かれて見学いたします）
 - ③懇談会 学校の現状と課題、感想など
- (4) 午後4時20分から午後4時30分まで
 - ①下船式
 - ②事務連絡

注）産学懇談会（第2回）の参加者申込みは、終了しております。参加を決定いたしました会員の皆様には、すでに参加決定通知をお送りしております。

【3】令和6年度 都立工科高校2024 ドリーム・フェスタが開催（7月）

7月28日(日)、新宿住友ビル三角広場を会場に、「令和6年度都立工科高校2024 ドリーム・フェスタ」が開催されました。このイベントは、都立の工科高校が一堂に会しており、工科高校生と交流し、ものづくりやデジタル技術を体験することができました。また、豪華ゲスト（お笑い芸人みやぞん氏、工業高校出身声優久保田未夢氏、(株)SkyDrive 代表取締役 CEO 福沢知浩氏、フリーアナウンサー宇賀なつみ氏）も出演し、イベントを盛り上げていました

【主なイベント内容】

- ・ ゲストと工科高校による工科高校PRタイム
- ・ 生徒へのインタビューをライブ中継したフロアリポート
- ・ 宮坂学東京都副知事、福澤知浩(株)SkyDrive 代表取締役 CEO によるスペシャル対談
- ・ 活躍されている工科高校卒業生による講演
- ・ 声優久保田未夢氏による WakuWaku! スクールライフトーク

当日は約 3600 名の来場者があり大いに盛り上がっていました。また、多くの方々に工科高校の特色や教育内容、学校の雰囲気などが伝わったと思います。このイベントに携わられた工科高校の生徒・教職員、教育委員会、ゲストの方々には、準備・当日の運営等で大変ご尽力いただき心より感謝申し上げます。



【4】令和6年度「西多摩で働く人材を育てる産学連携事業」連絡協議会 (第1回)開催(8月)

8月6日(火)、令和6年度「西多摩で働く人材を育てる産学連携事業」連絡協議会(第1回)が福生市商工会で開催されました。まず、会の冒頭に挨拶を長谷克己都立学校教育本部ものづくり教育推進担当課長、山下真一福生市商工会会長(東京都商工会連合会会長)、西澤宏繁東京都産業教育振興会会長より頂き、続いて事務局花野耕一より「西多摩で働く人材を育てる産学連携事業のあゆみ」についての報告をいたしました。その後、高校や商工会、商工会議所により産学連携の情報交換、今後の取り組みなどについての意見交換がなされ、大変有意義な機会となりました。

この事業は、西多摩地域を愛し、西多摩地域で働き、西多摩地域を活性化させていく人材の育成を目的とし、商工会・商工会議所が学校に対して実施するものとして、求人情報の提供、企業紹介、インターンシップ、長期就業体験、デュアルシステム受入先企業の紹介、講演会講師の派遣、教員対象研修会の実施、キャリア教育資料の提供、企業見学会の実施など多くの支援を行っております。その他に商工会・商工会議所が企業に対しても同様に支援を行っています。

○今回情報交換に参加された高等学校・商工会・商工会議所

都立五日市高等学校、都立秋留台高等学校、都立多摩高等学校、都立羽村高等学校、都立福生高等学校、都立瑞穂農芸高等学校、都立青梅総合高等学校、あきる野商工会、福生市商工会、羽村市商工会、瑞穂町商工会、日の出町商工会、青梅商工会議所



【5】（再掲）令和6年度「作文コンクール」のお知らせ

1 趣 旨

東京都産業教育振興会の会員校である東京都内の中学校、中等教育学校、義務教育学校、高等学校、専修学校、高等専門学校及び短期大学等に在籍する生徒・学生を対象に、産業教育に関する作文の募集を通して、専門教科の学習や勤労への興味・関心や意欲を喚起し、将来の職業人の育成を図り、もって東京の産業教育の振興と発展に資する。

2 作文の内容

中学校の技術・家庭科の学習もしくは高等学校や専修学校等における専門教科の学習、または勤労に関わる体験的な学習を通して経験したことを踏まえて、そこから得た人生観・職業観、自己の将来に対する考え方・心構え等について述べたもの。

【テーマ】

作文の内容について、次のテーマ番号（①～⑩）から関係するものを選択して応募票の欄に記入する。

- ①授業等を通して学び得たこと
- ②インターンシップや現場実習等によって学び得たこと
- ③職場体験やボランティア活動等によって学び得たこと
- ④つくることの喜び、ものづくりの喜び
- ⑤働くことの喜び
- ⑥学習に対する心構え
- ⑦私の生きがい
- ⑧私の進路、将来の夢
- ⑨私の職業観
- ⑩その他（産業教育に関わる内容のもの）

3 応募期限

令和6年9月13日（金）【消印有効】

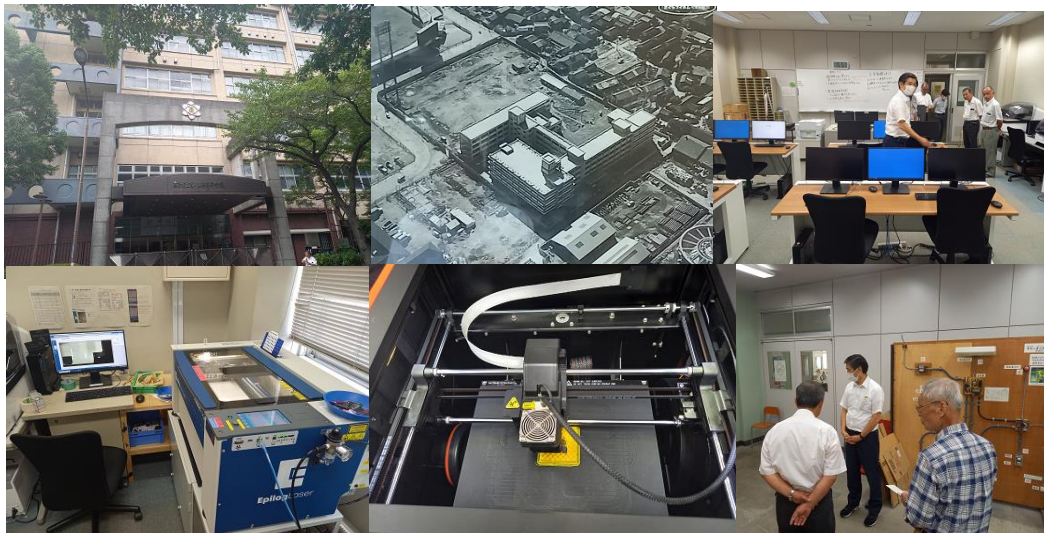
○応募資格、応募方法などの詳細については、東京都産業教育振興会のホームページをご覧ください。

【6】都立荒川工科高等学校訪問（7月）

7月30日（火）、工業高校OB校長会に同行し、都立荒川工科高校を訪問いたしました。荒川工科高校は、令和5年度に創立60周年（全日制課程）、創立75周年（定時制課程）を迎えた地域に根づいた工科高校であり、全日制課程は電気科・電子科・情報技術科の3学科、定時制課程は電気科・電子科の2学科を設置しています。特に、進路指導重点主義の学校として、企業や専門学校との連携を積極的に取り入れ、企業との交流や就職説明会などを開催し、生徒の進路選択の幅を積極的に広げています。

訪問後まず、坂田安永校長より、ご挨拶と学校の歴史や学校概要、特色ある教育活動について詳しく説明を頂きました。特にTokyo P-T E C Hの取組について熱く語られました。その後、坂田校長、阿部裕一副校長、米澤稔邦副校長の案内で施設・設備を見学した後、懇談会を行い、参加者からは施設見学・学校説明に対する質問・感想を述べました。また、電気科・電子科・情報技術科の現状と課題、教育活動への期待について意見交換を行い、有意義な機会となりました。

坂田校長をはじめ、都立荒川工科高等学校の皆様には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。



【7】情報提供のお願い

特色ある教育活動情報など、ホームページに掲載したもの、あるいは掲載していないけれども会員の皆様に知ってもらいたいものがありましたらお気軽に事務局までご連絡ください。会報電子版でご紹介させていただきます。

【お願い】

この「東京の産業と教育（電子版）」は全文が著作権で保護されていますが、東京都産業教育振興会の会員校や会員企業の内部では情報共有してくださるようお願いいたします。

東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課内

東京都産業教育振興会 事務局 （担当：早川）

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

TEL 03-5320-6729 都庁内線 53-247

E-mail : Tadanori_Hayakawa@member.metro.tokyo.jp
